



おにぎり通信

2022年12月3日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷、銀座、日比谷、秋葉原、日本橋、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

12月3日は「みかんの日」です。日本のみかんは、手で簡単に皮がむけて手軽に食べられ、甘くて美味しいと、世界でも人気です。他の国で売られているみかん類は、外側の皮や中の薄皮が硬い、種がある、身が酸っぱい、といったものが多いです。

みかんの皮は、裏側から放射状にむくのが一般的ですが、みかんの本場である和歌山では、まず身ごと真っ二つに割って、さらにそれを半分に割り、そのまま口に運んで、身だけを食べます。試してみると、手を汚さず、素早く食べられます。本場の知恵です。

福祉行動を希望の方は、おにぎりを配る時に、お声がけください。

病院や生活相談等で、福祉事務所に行くことを希望される方は、おにぎりをお渡しに伺った際に声がけ下さい。毎週土曜日の訪問活動の時に声がけ頂いた場合、翌週以降に福祉事務所まで同行します。

中央区福祉事務所・中央区築地1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階



おにぎりを包むラップや読み終わった通信は、放置せずゴミ箱へ



おにぎりは、お1人1個で、その日のうちに召し上り下さい

日付	04日 (日)	05日 (月)	06日 (火)	07日 (水)	08日 (木)	09日 (金)	10日 (土)	11日 (日)
東京都 千代田区	晴 18/6 10%	曇のち雨 12/7 80%	曇時々雨 6/5 80%	晴時々曇 12/3 40%	晴時々曇 13/6 30%	晴 13/4 20%	曇 9/4 40%	晴時々曇 10/6 40%

【アントニオ】

早いもので12月になり、一年が終わろうとしています。個人的な今年最大のニュースは、アントニオ猪木が亡くなったことです。だんだん世知辛く、こちんまりしていく世の中で、あれだけ個性的で、スケールの大きな日本人は、もう現れないかもしれません。

ブラジル帰りの猪木には、「アントニオ」というリングネームが付けられました。アントニオ（英語だとアントニーやトニー）という名前は、ブラジルやアメリカなどでよく付けられる名前です。海外では聖人にちなんで名前が付けられることが多く、アントニオという有名な聖人が二人いることも、この名前が人気な要因です。

一人は大アントニオと呼ばれ、修道士、日本的に言えば修行僧のはじまりとされる人物で、エジプトの荒れ野に籠って、厳しい生活を営みました。金持ちの家に生まれた大アントニオでしたが、二十歳の頃に両親が死ぬと、財産を全て売り払って貧しい人々に与え、その後、断食や不眠などの苦行を生涯にわたって続けました。

もう一人の聖アントニオは、亡くなってから800年ぐらい経ちますが、今でも奇蹟を起こし続けているとされ、祀られている教会は、世界でも最も多くの人々が訪れる教会のひとつとなっています。その教会には、聖アントニオの腐らずに残った「聖なる舌」がガラスケースで展示されていて、それも人々を引き付けています。

二人の聖人に倣うかのように、苦しい稽古に耐え、誰もやらないこと、例えばモハメド・アリとの異種格闘技戦、をして道を切り開き、そして、亡くなった後でも人々を引き付ける魅力を持つアントニオ猪木。「アントニオ」は、深く考えず適当に付けられたようですが、結果的には、名は体を表すピッタリの名前でした。



よつや なかま ちよだくこうじまち せい きょうかい
四ツ谷おにぎり仲間 千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会
れんらくさき れんらくかのうじかん まいしゅうどうようびごご
連絡先 080-7967-8672 (連絡可能時間 毎週土曜日午後3時~6時)